

特 集

## 新型コロナウイルスの感染拡大に対応した 臨地看護学実習計画と感染予防の取り組み

原田 真澄   東野 督子   村瀬 智子

特 集

# 新型コロナウイルスの感染拡大に対応した 臨地看護学実習計画と感染予防の取り組み

原田 真澄<sup>1</sup> 東野 督子<sup>1</sup> 村瀬 智子<sup>1</sup>

## I. はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、2020 年 3 月 30 日、本学に新型コロナウイルス感染予防対策本部が発足し、機能班として〈実習班〉が位置づけられた(4月6日)。実習班の役割は、次の3点である。

- ・実習での感染予防具体策の提示・物品準備
- ・実習実施可否の確認と否の場合は代替案の調整
- ・実習施設の実習要件の取りまとめ

本稿では、実習班として活動した感染拡大に対応した臨地看護学実習計画(以下、実習計画とする)の立案と、臨地実習を実施する前提条件として実施した感染予防行動の定着化への取り組みを総括し、実習班としての今後の課題を明らかにする。なお、ここでは、各領域別の臨地看護学実習の実習計画に焦点をあてて記述した。

## II. 臨地看護学実習計画と感染予防の取り組み

表1は、新型コロナウイルス感染予防対策本部会議を経て決定された実習に関する基本方針等を抜粋し、示したものである。

### 1. 実習計画の修正(2020年度前期:4年生)

当初、2020年度前期の臨地実習は、5月18日から開始する予定であった。しかし、日本赤十字豊田看護大学 新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 Ver.2(4月17日)の基本方針を受け、学内実習を6月1日以降、臨地実習の開始時期を7月6日以降とする実習計画表の修正案を作成した。主要

な実習施設との調整は、修正案に基づき、大学から学部長が窓口となり、一本化して行った。しかし、実習施設との調整が困難であった老年看護学および在宅看護学の実習については、全てを学内実習に切り替えざるを得なかった。これら2領域以外の実習は、従来の臨地実習の日数を減じて、学内実習と組み合わせる方向で調整をおこなった。

愛知県独自の緊急事態宣言の解除の発令(5月26日)を受けて、6月1日から学内実習を開始し、7月6日から臨地実習を再開した。

しかし、実習計画の修正後に主要実習施設より実習受け入れ中止の連絡を受けた。そのため、新規の実習施設開拓を含め、各実習施設に対して受け入れ期間の変更を打診し、調整を試みた。しかし、調整が不調に終わったため、成人看護学実習に関しては、一部の学生がすべての実習を学内実習に切り替えて実施することとなった。

### 2. 実習計画の修正(2020年度後期~2021年度前期:3年生)

3年生の2020年度後期からの実習については、臨地実習と学内実習を組み合わせる方向で実習計画表(7月10日版)を作成したが、上記1.と同様に主要実習施設より実習受け入れ中止の連絡を受けたことから、臨地実習に関する基本方針に基づき、実習計画を大幅に修正した。

2020年度後期~2021年度前期の看護学実習(臨地実習)の主な基本方針は以下の通りである。

- ①3年生の臨地実習は、10月から12月初旬にかけて再配置する。
- ②基礎看護学実習I・IIおよび成人看護学実習(急性期実習1週間・慢性期実習1週間)は、該当学生全員が経験できるように計画する。

<sup>1</sup> 日本赤十字豊田看護大学  
新型コロナウイルス感染予防対策本部 実習班

表 1 実習に関する主な基本方針

月日	実習に関する事項	出典
4月13日	<p>〈2020年度前期看護学実習（臨地実習）の実施に関する基本方針〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地実習前に感染予防に関する学内演習を実施し、当該学生全員が十分な感染予防行動がとれることを確認する。</li> <li>・看護学実習の中でも核となる成人看護学実習Ⅱ・Ⅲ（各2単位）は、それぞれ45時間（5日間）の病棟実習の実現に向けて調整し、学内実習と組み合わせることで教育の質を保証する。</li> <li>・その他の領域の看護学実習については、それぞれ45時間（5日間）の病棟実習の実現に向けて調整し、学内実習と組み合わせることで教育の質を保証する。ただし病院から実習受け入れ中止の連絡があった場合には、全てを学内実習に切り替えて対応し、教育の質を保証する。</li> </ul>	日本赤十字豊田看護大学 新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針
4月17日	<p>〈2020年度前期看護学実習（臨地実習）の実施に関する基本方針〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学実習の開始予定時期は、7月6日以降とし、実習計画表の修正案を作成する。</li> <li>・前期の看護学実習の実現が可能か否かを、6月2日（火）に感染拡大状況に応じて判断する。</li> </ul> <p>〈臨地実習の実施に関する前提〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地実習開始前に感染予防に関する学内演習を実施し、当該学生全員が十分な感染予防行動がとれることを確認する。</li> <li>・学生が、体温測定をはじめ、自己による健康管理を実施し記録することを前提とし、実習指導教員は学生の健康状態を確認し、実習実施可否を判断する。</li> <li>・実習期間中、学生が実習施設へ通学する経路での感染予防行動を含め、感染予防行動の実施を確認する。</li> </ul>	日本赤十字豊田看護大学 新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 Ver.2
6月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月1日から学内実習を開始した。</li> <li>・7月6日からの臨地実習について再開することを決定した。</li> </ul>	第13回新型コロナウイルス感染予防対策本部会議 議事録
8月31日	<p>〈2020年度後期看護学実習（臨地実習）の方針〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の臨地実習は、10月から12月初旬にかけて再配置し、感染拡大が収まった時期に行う。</li> <li>・各実習とも1週間は臨地で実習できることをめざす。ただし、施設から実習受け入れ中止の通知があった場合、時期を変更しての調整を行い、これらが不可能となった場合には、学内実習に切り替える。</li> </ul>	日本赤十字豊田看護大学 学部生・保護者の皆様へ

③各領域実習は、臨地実習を2分の1とし、臨地実習の代替としての学内実習を2分の1と組み合わせることで実施する。

### 3. 臨地実習の実施を前提とした感染予防行動の定着化への取り組み

4月13日および17日に臨地実習に関する前提が提示されたことを受け、実習班として以下の感染予防に関する取り組みを実施した。

#### 1) 感染予防に関する学内演習

臨地実習開始前に学生全員が十分な感染予防行動がとれることを目的に、感染予防に関する学内演習を順次、実施した。対象学生は2～4年生である。講義・演習に先立ち、教員間の感染予防に関する基本的な技術を統一するために、看護系教員全員に対して演習のデモンストレーションを実施した。学生に対しては、臨地実習の初日に学内演習として実施した。なお、学内演習は、講義と演習から構成され、講義は、本学ICD（Infection Control Doctor）の下間正隆教授によ

る講義（必携 病院実習感染対策マニュアルを教材として配布）と、その後、看護教員による演習（①手指衛生 ②手袋の着脱 ③個人防護具の着脱 ④マスクのはずし方）を実施した。

## 2) 【健康観察記録】の作成と学生への周知

学生が体温測定をはじめ、自己による健康管理を実施し記録することを前提とした健康観察記録票を作成し、学生自身で感染管理ができるしくみを作った。

## 3) 感染対策チェックリスト（臨地実習を行う学生用）の作成

実習期間中、学生が実習施設へ通学する経路での感染予防行動を含め、感染予防行動の実践を確認することを目的に作成した。

## 4) その他

その他の感染予防に関する取り組みは以下の通りである。

- ・ 臨地実習を行う学生への感染対策に関する指導に関する資料作成（臨地実習施設との打ち合わせ資料）
- ・ 新型コロナウイルス感染症 学生の健康状態モニター手順【学部生 臨地実習用】の作成
- ・ 学内実習利用教室希望調査および調整
- ・ 学内実習および演習による学内学生数の確認および調整
- ・ 学外視聴希望の DVD の取りまとめ

以上について、大学の基本方針および感染拡大状況に応じて、適宜修正しながら対応した。

## Ⅲ. 今後の課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する予測は難しい状況であるが、今後も感染拡大を想定した実習計画の作成・調整が必要である。今後の課題は、以下の通りである。

### ①大学の方針に沿った実習計画の作成

実習に関する大学の方針は実習開始 2 か月前に決定する。それを受けて実習計画を作成し、学生に情報提供していくことで、不安の軽減に努める。

### ②各領域との実習調整

各領域の臨地実習について、大学の方針に基づく実習計画の作成に協力を依頼し、各領域の現状に合わせて調整する。

### ③実習施設との連携

実習施設側には、感染拡大に伴い医療従事者の負担が増大している中で看護学生の実習を受け入れていただいている。今後さらに実習施設との情報共有および連携を強化し、学生にとって現状の中で最良の実習環境を整える。

### ④感染拡大に伴う看護学実習への影響等についての情報収集

現在、文部科学省をはじめ日本看護系大学協議会等が新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う看護学実習への影響等について調査を行っている。調査により学内実習や遠隔実習をどのように実施したかや、どのような取り組みが効果的であったかの知見が蓄積されつつある。これらの調査結果について学内で情報共有し、学生にとって教育の質を確保したよりよい実習計画について検討する。

## 引用文献

- 愛知県 HP <https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/2020052502.html> (2020 年 12 月 22 日)
- 日本看護系大学協議会看護学教育向上委員会. 2020 年度 COVID-19 に伴う看護学実習への影響調査結果. <https://www.janpu.or.jp/2020/12/11/17860/> (2021 年 1 月 14 日)
- 内閣官房 HP [https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitai\\_sengen\\_0407.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitai_sengen_0407.pdf) (2020 年 12 月 21 日)
- 日本赤十字看護大学 学部生・保護者の皆様へ <https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/2020/08/08ed978054e58659d8a2ba8e1ba80f60.pdf> (2020 年 12 月 28 日)
- 日本赤十字豊田看護大学 新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 <https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/2020/04/01f7e1248e27e38d2480630c93ee7db1.pdf> (2020 年 12 月 28 日)
- 日本赤十字豊田看護大学 新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 Ver.2 <https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/2020/04/3d53af5193d5936cdc749d90b2f2b1a8.pdf> (2020 年 12 月 28 日)
- 下間正隆 (2020). 2020 年度 必携 病院実習感染対策マニュアル.

新型コロナウイルス感染予防対策本部 組織図

[https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/  
2019/04/7fcaa0b612b3e8330273b1fc098da7a1.pdf](https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/2019/04/7fcaa0b612b3e8330273b1fc098da7a1.pdf)

(2020 年 12 月 28 日)